

## 人の心を豊かに出来るバレエ振付家

筑波大学附属小学校五年 諏訪 由季

私は3歳からバレエを続けている。私のバレエスクールの先生は、とても厳しいけれど、70人ほどの生徒を一人で仕切っていて、バレエ留学のサポートも出来る方で、私は先生の事をとても尊敬している。そんな先生のもとで長い間バレエを続けられている事が私の誇りだ。この誇りを、将来の職業に活かしたいと思った。

バレエに関わる仕事にはいろいろあるが、私は振付家になりたいと思っている。バレエは、人が生きていくために必要な物ではないけれど、音楽や絵画などと同じように、人の心を豊かにする物だと思う。自分自身で踊る事はもちろん楽しいけれど、自分で作品を考えて、それを素晴らしいダンサーに踊ってもらい観た人に感動や喜びを感じてもらおう。いつかそれを実現させたいと思う。

その先に叶えたいのは、自分の作った

作品を、後進国でも上演する事だ。バレエの公演チケットはとても高い。国内のバレエ団でも1万円ほど、海外のバレエ団の公演になると2万円以上する。それは、バレエ公演には、多くの人が関わろうかなセットが組まれ、オーケストラの生演奏も行われるから。また、バレエダンサー達は、年に何日かの本番のために毎日練習しているのだから、高くても仕方ない。だから貧しい国では、バレエはなかなか上演されない。でも、せっかく人の心を豊かにするものなんだから、国の豊かさと同様なく、世界中の人々に観てもらわなければならない。これを実現する事はもちろん簡単ではないけれど、振付家になり、まずは豊かな国の上演に成功して、そこでスポンサーをたくさん見つけて、いつか後進国でも上演し、バレエにあまり触れた事のない人にも自分の作品を観てもらわなければならない。私の夢だ。

バレエの振付家になるだけでも、その道は狭すぎるし、お金もたくさんかかりそう。以前観たドキュメンタリー映画で、現在、イギリスのバレエ団で活躍している日本人ダンサーは、彼女がバレエ留学するために、両親が家を売って留学費用を作ったと言っていた。振付家になるのにも、海外での経験は必要だから、留学費用が必要になる。これは両親にお願いしなければならぬ。今は、自分でお金をかせげないのだから。今、出来る事をしっかりやらなければならない。それは、勉強とバレエレッスンと、働いていて忙しい両親の手伝いだ。

### のライフプラン

将来なにになりたいか? バレエ振付家

その理由: 人の心を豊かに出来るバレエを後進国で上演したいから。

### 夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2018年	11歳 (小学5年)	初めてのバレエコンクール翌年の発表会にむけて猛レッスン	バレエレッスン代 塾、英語代
2019年	12 (小学6年)	中学入学にむけて猛勉強 バレエは少し減らす	バレエレッスン代 塾、英語代
2020年	13 (中学1年)	国立中学入学 日本でバレエRADの資格取得の受講	バレエレッスン代 塾、英語代
2021年	14 (中学2年)	勉強&バレエを頑張る	バレエレッスン代 塾、英語代
2022年	15 (中学3年)	高校入学に向けて猛勉強 バレエは少し減らす	バレエレッスン代 塾、英語代
2023年	16 (高校1年)	国立高校入学	バレエ、英語代
2024年	17 (高校2年)	勉強&バレエを頑張る	バレエレッスン代 塾、英語代
2025年	18 (高校3年)	イギリスの大学受験に向けて猛勉強	;
2026年	19 (大学1年)	イギリスの大学入学 ロイヤルアカデミー オブダンスのメソッドを学ぶ	留学費用、生活費
2027年	20	ロイヤルアカデミー オブダンスのメソッドを学ぶ	;
2028年	21	;	;
2029年	22	;	;
2030年	23 (大学卒業)	イギリスのバレエ団に就職 振付師のアシスタントになる	安い給料で、くじけず 頑張る→生活をおさえる
2031年	24歳	;	;
2032年	25歳	;	;
2033年	26歳	;	;
2040年	33歳	初の振付作品が上演	少し給料が上がる
2050年	43歳	日本で自分の振付公演が初めて上演される	スポンサーをたくさん集める
2057年	50歳	後進国でバレエ公演上演	そのスポンサーと共に夢を実現